



## 『小さな学校の大きな取り組み』 市内3校目の「特認校」を指定しました!



### 1 小規模特認校とは?

市内在住、または在住予定の人で、地域の特性を活かした独自の教育方針に賛同し、入学や転入を希望する場合に、従来の通学区域を越えて通学できる特例制度です。

市教育委員会では、少人数教育の良さを生かした学校の活性化を図るため、これまでの白川小学校、野登小学校に加え、令和8年度から新たに昼生小学校を小規模特認校に認定しました。いずれの学校も、地域の皆さんの温かな支援に支えられた「地域とともにある学校」です。

- 入学・転学を検討する人は、各小学校または教育委員会事務局へご連絡ください。
- 各校が実施する「学校見学会」で、地域とともに進める教育の様子を直接ご覧いただけます。
- 教育委員会事務局の窓口で、各校の特色を紹介したパンフレットの配布をしています。

☎ 白川小学校(82-3007) / 野登小学校(85-0009)  
昼生小学校(82-1007) / 亀山市教育委員会(84-5075)



### 亀山市小規模特認校の教育活動等の紹介

### 2 ~地域が育み、みんなが輝く、特色ある学校づくり~

#### 昼生小学校



令和8年度から特認校



亀山市の南部に位置し、美しい里山やのどかな田園風景が広がる、四季折々の自然に恵まれた地域です。また、少人数という特性を最大限に生かし、低学年から高学年までが一緒に活動する「縦割り班」での異学年交流を積極的に行い、上級生が下級生を思いやりながら、ともに成長する温かな校風が根付いています。最大の魅力は、保護者や地域の皆さんとの強固な絆です。「地域とともに歩む学校」として、小学校と地域まちづくり協議会が共催する運動会や文化祭では、企画段階から協力し合い、地域全体で盛り上げています。また、令和7年度から新たに「キャリア教育」に取り組み、地域の店舗と協力して、子どもたちが考案した和菓子を販売するプロジェクトを展開しています。教科書だけでは学べない「生きて働く力」の育成と、子どもたちの発信による「昼生地区の活性化」を目標に、学校、家庭、地域が一体となってさまざまな教育活動にチャレンジしています。



#### 白川小学校



平成15年度から特認校



国登録有形文化財に指定された趣ある木造校舎が象徴です。キャリア教育で文部科学大臣表彰を受けています。

「炭づくり学習」や30年続く「つくしの家」との福祉交流など、体験を重視した、地域と深く連携した取り組みは、ほかにはない実践的な学びです。



#### 野登小学校



令和7年度から特認校



地元のミツマタから作る「自作和紙の卒業証書」は、20年続く伝統です。天然記念物ネコギギの調査や米作り、茶摘みなど、豊かな自然を生かした多彩な体験が魅力です。また、地域に根ざした取り組みが大きな特色です。



~地域と育ち、仲間とつながり、少人数で、「じっくり・しっかり学べる」学校づくりの推進~

問合先 教育委員会事務局学校教育課学事教職員グループ ☎84-5075